



報道機関 各位

平成 24 年 10 月 5 日

国立大学法人和歌山大学  
国立大学法人東北大学

小型衛星放出実証ミッションに採択された衛星「RAIKO」が  
国際宇宙ステーションから宇宙空間に放出されました

国際宇宙ステーション（ISS）からの小型衛星放出実証ミッションに採択された超小型衛星「RAIKO」が、ISS に滞在中の星出彰彦宇宙飛行士が操作するロボットアームによって、2012 年 10 月 4 日 23 時 37 分(日本時間)に宇宙空間に放出されました。

このミッションは、従来はロケットで軌道に運ばれている人工衛星を、ISS の「きぼう」日本実験棟から船外に直接放出して軌道に乗せるという、世界初の試みです。

「RAIKO」は、和歌山大学が代表機関となった文部科学省超小型衛星研究開発事業、通称「UNIFORM プロジェクト」で開発される一連の衛星に対する先駆的な位置付けとして、和歌山大学と東北大学が連携して製作・試験・運用を行う衛星です。2012 年 6 月 25 日に製作を完了して宇宙航空研究開発機構（JAXA）に引渡した後、7 月 21 日に鹿児島県の種子島宇宙センターから打ち上げられた宇宙ステーション補給機「こうのとり」3 号機（HTV-3）によって ISS へ運ばれ、放出に向けた準備が進められていました。

衛星運用期間中（半年～1 年程度を想定）は、魚眼カメラによる地球撮像など、一連のミッションを実施。最後は、膜展開による軌道降下によって大気圏に突入し、燃え尽きる予定です。

現在、東北大学が保有する地上アンテナ施設が放出日直前に故障を生じたため、衛星のメイン送信機電源(出力 100mW)を投入出来ていません。微小な出力を持つサブ送信機 1 台(出力 1mW)のみ自動で電源オン状態であると想定されますが、地上で電波を確認できていません。引き続き、地上アンテナ施設の復旧と、衛星の追跡能力の向上に取り組んでまいります。

<問い合わせ先>

和歌山大学：

宇宙教育研究所 秋山演亮

TEL: 073-457-8505

E-mail: ifes\_info@crea.wakayama-u.ac.jp

東北大学：

工学研究科航空宇宙工学専攻 吉田和哉

TEL: 022-795-6992

E-mail: yoshida@astro.mech.tohoku.ac.jp

工学研究科情報広報室

TEL : 022-795-5898

E-mail : eng-pr@eng.tohoku.ac.jp